

⑩ 日本国特許庁 (JP)

## ⑪ 公開特許公報 (A)

⑫ Int. Cl.

D 04 H 3/18  
3/03

識別記号

庁内整理番号

6844-4L  
A-6844-4L

審査請求

⑬ 発明の名称 嵩高長繊維不織布

⑭ 特 願 昭62-112540

⑮ 出 願 昭62(1987)5月11日

⑯ 発 明 者	長 谷 川 雅 保	滋賀県守山市小島町515
⑰ 発 明 者	前 田 昌 彦	滋賀県守山市小島町515
⑱ 出 願 人	旭化成工業株式会社	大阪府大阪市北区堂島浜
⑲ 代 理 人	弁理士 青 木 朗	外 4 名

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

嵩高長繊維不織布

## 2. 特許請求の範囲

1 挿綴数が2〜30個/25mmである連続した複数のフィラメントから成り、筋延のなく且つ目付分散指数が80以下の均一な嵩高長繊維不織布。

## 3. 発明の詳細な説明

得られた不織布は、スパンボン嵩高なスパンになっている。例えばて染軟なものではなく肌に当たるコート等にその肌られるであろうの改良に、さら

⑩ 特許出願公開

) 昭63-282351

④公開 昭和63年(1988)11月18日

未請求 発明の数 1 (全6頁)

番地 旭化成工業株式会社内  
番地 旭化成工業株式会社内  
1丁目2番6号

の高剛性が劣るという問題点を有  
ド不織布の用途が広がるにつれて  
ンド不織布に対する要求が高まっ  
嵩高なスパンボンド不織布で薄く  
、使い捨てオムツのトップシート  
のシート)や造雪用品のトップシ  
ざわりの良さによって有用に用い  
し、又緩いものは土壌中での排水  
にポリオレフィン等の親油性に富

## 〔産業上の利用分野〕

本発明は溶融性ポリマーを紡糸し、短繊維にする事なく、そのままウエブを形成して作られた不織布に關する。より詳しくは撓縮を有する長繊維を用い、それぞれの長繊維が十分に分散された嵩高な長繊維不織布に關する。

## 〔従来の技術〕

現在スパンボンド不織布は各種用途に広く用いられている。しかしこれらスパンボンド不織布に用いられるフィラメントは無撓縮であるために

むものを用いた  
ャーナ材として  
嵩高性のある  
繊維くた例えば  
ブ製造機により  
グ等の適切なメ  
きる。

しかしながら  
経る事なく、直  
て作られるので  
グ部分の破損に

場合には、排水浄化用のオイルや  
有用に用いることができる。

不織布自体は一般に捲縮のある短  
繊維（セルロース繊維）をカード式ウエ  
ブを作成し、熱風ボンディン  
グ法により作ることがで

、スパンボンド不織布は短繊維を  
撚長繊維ウェブにすることによっ  
、布強度が強い。且つボンディン  
グによる短繊維の脱落がない等の物性